

2025年伊東市伊東港水中清掃企画書

海中のゴミを放置しておくと、そこに住む海洋生物に危害を及ぼし、ひいては海の生態系に悪影響を及ぼします。また、海岸に流れ着いたり水面に浮かんでいたりすることで景観も損ないます。水中清掃を行うことで、今より更に伊東市の魅力を高め、生態系を保護し、社会貢献活動として街全体の価値をあげることに繋がります。

作成日：2024年12月25日

作成者：白井ゆみ（MORE企画代表）

背景

今回、清掃場所となるのは伊東市の伊東漁港。伊東市の中心であるこの港は、伊東市をはじめ多くの地域の水産業を支えているハブ港です。海と海産物は、伊東市の宝であるため、その海を少しづつでも清掃することは、市内外に対して大きなイメージアップと市の未来にとって重要な取り組みとなるでしょう。MORE企画が拠点にしているのは伊東市であり、この街に住所も活動基盤も置いています。伊東市内も人口が減り続けている現在、継続して伊東市と地域産業・産物に魅力を感じる観光客を増やし、移住へ繋げ、企業や学校の誘致と並行して市税を増やし「住みやすい街、住みたくなる街」にしていきたいと考えています。

概要

【日時】2025年3月18日（火）9時～15時（下見潜水2月4日（火））

【場所】〒414-0043 静岡県伊東市新井1丁目1-18

【主催・実行】MORE企画（代表：白井）

【協力】伊東漁協、伊東ダイビングサービス、伊東市環境課、伊東観光協会、熱海土木事務所など

目的

【生態系の保護】

海中のゴミが生態系に与える悪影響を軽減し、海洋生物や海洋環境を保護すること。ゴミが海洋生物に絡まったり、飲み込まれたりすることで生態系が破壊されることがあるため。

【環境保全】

海洋環境の美しさや清潔さを維持し、海洋生物の生息地を保全すること。水中清掃は、海中のゴミや汚染物質を取り除き、海洋環境を清浄に保つ役割を果たす。

【公共の利益の向上】

水中清掃によって、地域や水産物の魅力を向上させること。海洋や海岸における清潔さは、観光地やマリンレジャー施設の魅力を高め、漁業や観光産業経済の発展に貢献する。

【社会的責任の履行】

企業や組織が社会的責任を果たす一環として、環境に対する配慮を示すこと。また、周辺地域の企業や個人が環境問題へのアクションを起こす機会を与えること。

| 具体的な内容 | |
|--|---------------------------------|
| 【人数】水中ボランティア 9-12 名（3人1組）、陸ボランティア 15 名、協力団体から 10 名 | |
| 項目 | 内容・管轄・依頼先 |
| 駐車場 | 伊東漁協の施設使用（20台前後の予想）※見学者の駐車可否相談 |
| お手洗い | 伊東漁協の施設使用 |
| 水道 | 伊東漁協の施設使用（1本目と2本目の間の休憩時） |
| ゴミ一時保管 | 伊東漁協の敷地内（日数等は今後、観光課や熱海土木事務所と相談） |
| テーブル・椅子 | 観光協会（20名分） |
| 監視船 | 伊東ダイビングサービス（エキジット、器材運搬にも使用予定） |
| シャワー・トイレ | 伊東ダイビングサービス（2本目終了後に移動） |
| 昼食休憩所 | 伊東ダイビングサービス（外 or 中）※人数的に外が濃厚 |
| シリンドラー | 伊東ダイビングサービス |
| メディア | 伊豆新聞、CVA、静岡新聞、静岡放送、東京新聞など |
| 記録撮影 | Marine Sweeper、MORE 企画 |
| 傷害保険 | あいおいニッセイ同和損害保険（潜水作業あり・なし両方）予定 |
| ※見学可能にする場合は、駐車場係を1名配置 | |
| ※漁協周辺のポイ捨てゴミや散乱ゴミ（飛ばされてきたゴミ）を清掃する部隊も設置（3-4名） | |
| ※協賛はある程度の人数分を色々なところに用意してもらうようとする（1社で全員分不要） | |
| ※謝礼金は、水中清掃プロダイバー、伊東ダイビングサービスへの施設使用料とシリンドラ代、ボート代のみ支払い可能（他は都度相談） | |
| 水中清掃の詳細 | |
| 【水中清掃の流れ】 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・水面に潜水中の旗とフロートを1-2つ設置 ・3人1チームに分かれて、1人はフロート付近で待機をして陸上と水中との連絡役となる ・岸壁からの引き上げ（ロープと人力）※フォークリフトがあれば尚良 ・船への引き上げも検討（ゴミが落ちている位置による、岸壁から離れている場合は船にあげる） ・一つずつ引き上げるよりも、ある程度の個数のゴミにロープを水中でまきつけてから一気に引き上げる方法も検討中（理由：ひとつを引き上げるとヘドロで視界不良になるため、タイムロスになる） | |
| 安全管理 | |
| (1) 事故発生時には伊東港の「事故発生時の連絡網」に従って対応する。 海上保安庁：118 消防：119 警察：110 近隣の病院、軽症の場合、重症の場合：伊東港の事故発生時の連絡網に従う | |
| (2) 1チーム毎に水面での安全管理ダイバーが水面で国際信号旗A旗を取り付けたフロートかブイを保持して、その下をダイバーが潜るようにする | |
| (3) 安全潜水とボランティア依頼に関しての覚書・同意書への自署をもらう | |

ゴミの処理回収

ゴミの処理について伊東市と熱海土木事務所で話し合い

中止

【中止判断】

- (1) 2025年3月12日(水)午前9時の時点での判断
- (2) 2025年3月17日(月)午前9時の時点での最終判断

【キャンセル】

委託先(ダイバー)、依頼書を受領後に業務を受けられなくなった場合、2025年3月12日(水)までにMORE企画まで連絡する。主催または実行は、依頼後に何らかの理由で中止となった場合は、速やかにその旨を委託先へ連絡する。(共にペナルティ等は設定しない)

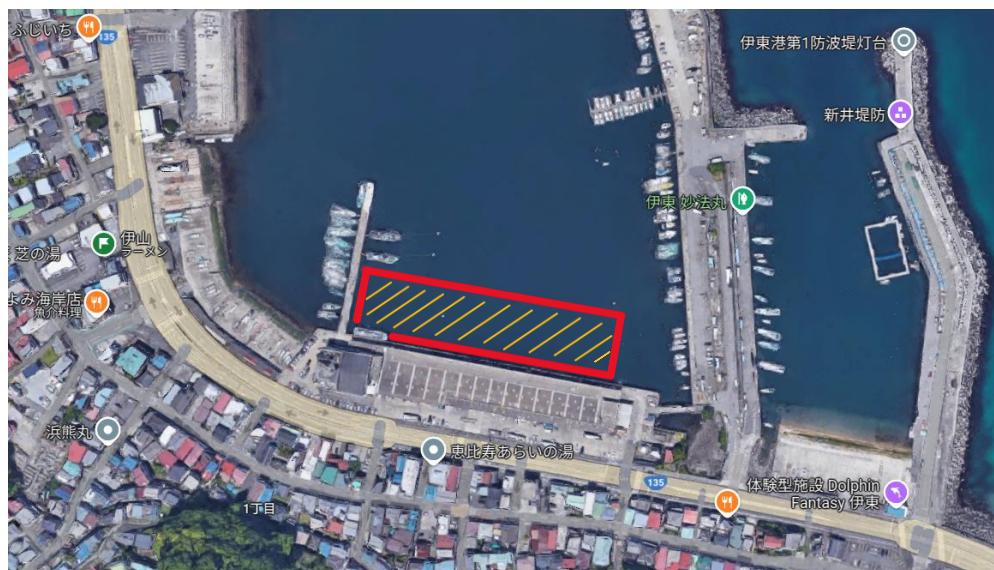
経費

| 項目 | 合計金額 | 詳細 |
|---------|----------|---------------------|
| 謝礼金 | 240,000円 | 12名分/2万円 |
| 傷害保険 | 10,000円 | 3月12日時点での参加表明済みの方のみ |
| 施設使用料① | 23,100円 | 仮:ダイバー14名(作業12、撮影2) |
| 施設使用料② | 7,500円 | 仮:ノンダイバー15名 |
| ボート代 | 20,000円 | 仮 |
| タンク代 | 36,000円 | 24本 |
| その他事務処理 | 30,000円 | 企画交渉、書類作成、要件定義、下見等 |
| 合計 | 366,000円 | 仮 |

※上記金額は、すべてMORE企画の負担とする。周囲からの寄付も募る予定。

※謝礼金に委託先への交通費も含む(謝礼金受け渡し時には受領書への自署が必須)

清掃予定か所



※最終決定は、下見後に相談する(2024年12月24日の打ち合わせ時点での清掃予定場所)

※横100m強、岸から5~10m離れたところまでを範囲とする予定(ゴミの引き上げやすさを考慮)